

会 報

No. **125**

令和6.10.1

開館20周年を迎えて

伊丹市立図書館北分館 館長 むらた まさのり 村田 正則

伊丹市における生涯学習の更なる推進を目指し、平成4年に生涯学習センターが、平成16年に北部学習センターがそれぞれ図書館分館を併い新設されました。

伊丹市立図書館北分館は、学習(公民館的)機能及び児童館的機能を有する市立北部学習センター(きららホール)の一翼として、開館20周年を迎えました。

伊丹市北部地域における生涯学習推進拠点施設建設に際しては、地域住民等による「建設懇話会」が設置され、様々な提言をいただきました。

こうした経過を踏まえ、時を同じくして導入された指定管理者制度が伊丹市で最初に適用され、市北部の地域団体を中心に設立された「NPO法人まちづくりステーションきらめき」が指定管理者となりました。

ただし、図書館北分館については当初、業務が軌道に乗るまでは市の直営でしたが、2年後の平成18年から図書館本館は市の直営、分館は指定管理者による運営との方針が定まり、北分館についても「きらめき」が指定管理者となりました。

分館を含めた市全体の図書館の書籍は、市民の共有財産であり、市内どこの図書館でも等しくサービスが提供されるよう、図書館本館が各分館と情報の共有化を図り、伊丹市の図書館業務全体を統括しています。

図書館北分館は、複合施設の一部であるため、管理運営が一体化することにより、利用者の意見・要望等に、センター・分館で統一した対応や危機管理時にも速やかな対応が可能となるだけでなく、分館とセンターが連携した事業展開を行うことで、利用者の交流や新たな興味へのきっかけづくりとなり、今まで知りえなかった生涯学習の場へと足を運ぶ機会を創出することが可能となります。

図書館本館は、平成24年、中心市街地活性化の役割も担い、昭和初期まで醸造していた酒蔵跡地へ新設移転し、「ことば蔵」の愛称を得ました。平成28年には、「本館・南分館・北分館・神津分館・西分室」によるネットワーク体制が整い、本館及び西分室は市の直営、3分館はそれぞれ別の指定管理者が運営を担っています。

【伊丹市立図書館北分館の主な取り組み】

図書館北分館は、市北部地域の拠点施設として、図書の貸出・予約・リクエストやAV資料の視聴、レファレンスに加え、テーマ展示や読み聞かせ・朗読会・おはなし会、市内図書館で唯一所蔵しているDVDの上映会等も行っています。

具体的には、幼児期から本への親しみが持てるように、「ベイベイ(北北)ぬりえ大募集」、「北分館ハロウィン」、「ぬいぐるみのおとまり会」などに取り組んでいます。「おはなし会」「かみしばい」「ちびっこミニ映画館」は、児童館機能も有する北部学習センター内の図書館という利点を活かし、「ゆうぎしつ」等で、「わくわく人形劇」は「多目的ホール」で実施しています。

夏休みには、毎月開催している「KITAシネマ」を子ども向けに毎週開催したほか、「平和ブックリスト」を作成しました。また、「わくわく☆よむよむ便」として、近隣の6つの小学校に設置されている児童クラブへ2か月ごとに本を届けています。

11月に開館20周年記念事業に取り組んだ後は、コロナ禍後の社会変化に対応しながら、30周年に向け、新たな歩みを進めていきたいと考えています。

館内の様子



DVD視聴の様子



おはなし会の様子



加古川ウェルネスパーク図書館へようこそ！

加古川ウェルネスパーク図書館 館長 いなつき 稲月 はな

加古川ウェルネスパークはスポーツジムや音楽ホール、図書館からなる複合施設です。加古川西部地区では初めての文化施設ということで、地元の皆様に待ち望まれ平成9年11月に開館しました。

ウェルネスとは、毎日の生活様式を改善し、積極的な生き方を目指す総合的な健康づくりのことです。運動、栄養、休養、人間関係、自然環境、生きがいなどをバランスよく充実させて、生き生きとした生活を送ろうとする考え方です。そんな施設名にちなみ、一般開架中央には健康に関する本を集めた「ウェルネスコーナー」を設置しています。

木を基調とした明るく開放的な館内は、天窓からも光が差し込み、テラス席からは木々が図書館を彩ります。また、施設内の「ハーブの丘」や「ラベンダーの丘」には四季折々の花が咲き、散歩をしながら自然を楽しむことができます。

今年度からは図書館2階集会室を利用者に開放し、読書や自習等にご利用いただいています。図書館で読書を、ウェルネスセンターで運動、ホールで音楽を楽しむ、花を眺めて散歩し、レストランで食事をするなど、一日中滞在していただけます。

そんなウェルネスパーク図書館ですが、最寄り駅であるJR加古川駅からはバスが1日3本しかなく、来館者の多くは車でお越しいただいています。近隣にお住まいでなければなかなか来館する機会もないかと思いますが、10月に「ウェルネススポーツデー」、11月には「ウェルネス文化祭」と施設全体での催しも企画していますので、図書館見学を兼ねてぜひお立ち寄りください。

6月に開催された兵庫県図書館協会総会において、自身を含む3名のスタッフが図書館活動功労者表彰をしていただきました。今後も研鑽を重ね、利用者の皆さまにとってより良い図書館となれるよう努力し続けてまいります。



～ 受賞者のコメント ～

おはなしの世界へ

加古川ウェルネスパーク図書館 よつくら 四倉 かなえ 加奈恵

図書館で働き始めて早15年が経ちました。スタッフの皆さんに支えられ、助けてもらいながら勤務できたことを深く感謝しています。

私にとって図書館業務の醍醐味の一つは、おはなし会やイベントで子どもたちの反応を間近で見られることです。特におはなし会は、コミュニケーションの場と捉え、おはなし会が始まる前に集まってくれた子に声をかけ、反応や問いかけに対応するように努めています。

幼児向けの会では、手遊びやわらべうたを交え、ストーリーテリングの会では、ロウソクを使用し、おはなしの世界に入りやすいように雰囲気づくりをします。子どもたちの成長に合わせて絵本を選書するのは悩みますが、楽しい作業です。

より良いおはなし会にするためには、読み手の楽しむ姿勢も大切だと感じます。子どもたちとの交流を楽しみながら絵本を紹介し、子どもたちと本との出会いの機会を増やせるように努力していきたいです。

永年勤続章を受けて思うこと

加古川ウェルネスパーク図書館 はせがわ 長谷川 ゆきこ 由紀子

加古川ウェルネスパーク図書館は、開館27年目を迎え、指定管理14年目となり、市内で2番目の蔵書館として、地域の皆さまにご利用いただいています。加古川市や兵庫県職員の方々には、日々善きご理解とご指導をいただきながら、スタッフ一同、司書としての高い志を目標に日々学びながら運営業務に努めております。

当館の利点は、スタッフの自発的な発案によるイベント開催や特集展示などが行われていることです。外部のボランティアや講師も入れず、スタッフのみで行うイベントでは、児童対象の「ネイチャークラブ」や大人対象のストーリーテリングを行う「大人のためのおはなし会」などがその一例です。

私事ですが、大学生の時に尊敬する講師や先輩に出会い、相生市に司書職員として採用され、現在は公務員を離れて、指定管理館でスタッフとして勤務しています。毎日、第一線である窓口業務に携わることで、図書館の動向を肌で感じられることに、喜びを感じる日々を過ごしています。

今後も、0歳から高齢の方までのすべての利用者へ「図書館へ行ってよかった」と思ってもらえるようなサービスを心掛けていきたいと思っています。

来フアリ～

図書館のお宝をもっと世に広めたい

伊丹市立図書館本館「ことば蔵」
うえだ あかね
上田 茜

この度は、永年勤続表彰をいただきありがとうございます。私が図書館に興味を抱くこととなるきっかけは、高校時代のある授業での先生の一言でした。「ディベートにおいてはエビデンスが大事！」と言われ、自分の主張の根拠となる情報を探しに図書館を訪ねてみました。当時はレファレンスサービスを知らず、忙しい図書館員には遠慮して声もかけられず、自力では満足な調査ができなかったことを思い出します。

のちに、情報検索のスキルを持つ司書という職業を知り、そのサービスの存在をもっと広めたいという思いから、図書館に勤務することとなりました。この15年間というもの、一緒に働く仲間や同業の皆さんの存在にいつも刺激され、励まされてきました。

数年前より、国立国会図書館のレファレンス協同データベース事業にサポーターとして個人的に関わるようになり、サポート活動を通じて、日本全国に未公開の「お宝」がたくさん眠っていてもったいないと思うようになりました。「知」の宝庫を探究するにはまだまだ力不足ですが、輝きを放つ「お宝」にたどり着けるよう、この先も初心を忘れず、日々研鑽を重ねてまいります。

楽しく無我夢中でいつの間にか

加東市中央図書館
いわや あきこ
岩谷 朱紀子

永年表彰をいただきありがとうございます。思えば、利用者の方から「アンタで何年や」とカウンターで聞いていただくことが、この所ちょこちょことありました。「いくつに見えているのかしら」と自分の見た目年齢を気にしていたところでしたが、今回の表彰で「そうか、この図書館では古い顔になってきたんだな」と気付いた次第です。

俗に就職氷河期といわれる世代で、色々と職を渡り、前職は書店員でした。色々と事情が重なり楽しく働いていた書店を辞め、様々な運と何より人との出会いがあり、憧れであった図書館という職場に勤めることができました。必死で働くうちに10年以上の月日が流れ、「何年」とは問われますが、先達の方々のような仕事はまだまだできていないと痛感する日々です。

“図書館は社会の動きと無縁では無い”と何代か前の館長に言われたことを、最近よく思い出します。当然のことですが、日常の業務をこなすことに追われ、利用者の方々の変化の様子に気付けなくなっている気がします。今回の表彰をいただけたことをひとつの励みとし、地域の方々の利用や、隠されたニーズに応えられるような蔵書構成、図書館に近づけられるよう、そこで働くものとして力を尽くしていきたいと思えます。

感謝

加古川市立中央図書館
いまむら むつみ
今村 睦

この度は、永年勤続表彰をいただきありがとうございます。数十年前、高校生の時に県立図書館の玄関まで行きましたが、近寄りがたい雰囲気があり、中には入れませんでした。そんな場所で数十年後に自分が表彰されることになり、感慨もひとしおです。

時を経て社会人学生になった時、いつか図書館で働けたら良いなと思い、司書課程を選択しました。卒業して1年後、明石市立図書館が指定管理になるタイミングで職員を募集しており、幸運にも西部図書館で働けることになりました。全くの未経験でしたので、図書館の仕事や職員としての心掛けなどを一から教えていただきました。ご迷惑をおかけしたこともたくさんあったと思います。今思い返せば冷や汗ものです。9年間勤めた後、縁あって加古川市立中央図書館で働くことになり、今に至っております。

図書館で働いてみて分かったことは、静かな所なのに意外とハプニングが起こる刺激的な場所だということです。困った時や失敗した時は、上司や同僚の方々に助けられてこれまで勤めることができました。お世話になった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

図書館と縁ありて

たつの市立御津図書館
ふじわら めぐみ
藤原 恵

「お願いします」と壮年男性から手渡された貸出券申込書の名前とその顔に覚えがありました。私は図書館の職員として駆け出しの頃、姫路市立図書館の分館で勤務しておりました。その頃からよく通って来てくれた男の子がまさに彼だったのです。家族を連れての来館に、今も本が好きでいてくれたこと、そしてその思いが次の世代へつなげられていることに胸がキュンとするぐらい嬉しく思いました。

私はその数年後に司書の資格を取得しましたが、その時に実習をしたのが、ここ御津図書館でした。縁とは不思議なもので、更に時を経て、昨年より勤務しております。

現在、図書館では広域利用で近隣市町との相互利用が可能です。彼との再会もそのおかげです。今後も地域の方、特に子どもたちに、図書館を通じて本とふれあうことのたのしさをたくさん感じてほしいと思います。そのためには私もまだまだ精進しなければならないと思っております。

今、私が図書館の職員として奉職できるのも諸先輩の方々、また同僚の方々のご指導の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも私なりに図書館文化高揚に、微力ながら精一杯努めてまいります。

協会からののお知らせ

表彰者の紹介（敬称略）

永年精勤 上田 茜（伊丹）
今村 睦（加古川）
稲月 はな（加古川）
長谷川由紀子（加古川）
四倉加奈恵（加古川）
岩谷朱紀子（加東）
竹内 昌代（たつの）
藤原 恵（たつの）
高橋 知章（新温泉）

令和6年度役員紹介（敬称略）

会 長 野村 孝（県立）
副 会 長 小藤智代美（県立）
中山 裕介（神戸）
山田 正人（伊丹）
干谷 葉子（姫路）
理 事 藤野 高司（宝塚）
松本 穰次（加古川）
三木美奈子（いちかわ）
原田 涉（宍粟）
田村 典嗣（養父）
田中真紀子（丹波篠山）
済藤 昌希（淡路）
由田 克彦（労働）
監 事 高木 普子（川西）
稲月 はな（加古川）

令和6年度予算

（単位：円）

〈一般会計〉	
事務局費	90,000
事業費	600,000
事業特別会計費	100,000
全公図分担金	43,000
予備費	35,322
〈兵庫県立図書館託送システムの運営経費 一部負担特別会計〉	
負担金	500,000
予備費	5,386

令和6年度 地区別研修会（今後の予定）

- 神戸・阪神地区
「子どもの本の紹介文の書き方」
於：三田市立図書館／令和7年1月29日（水）
- 東播磨地区
「居場所、交流の場としての図書館」
於：西脇市茜が丘複合施設Miraie／12月16日（月）
- 西播磨地区
「生きるための絵本－絵本という宝物を子どもたちに手渡すために－」
於：たつの市総合文化会館アクアホール／
11月13日（水）
- 但馬・丹波地区
「書店と図書館のイベント連携・こどもと本のイベントについて」
於：新温泉町立加藤文太郎記念図書館／
11月19日（火）
- 淡路地区
「展示の工夫」
於：南あわじ市役所／12月6日（金）

令和6年度の大会・研究集会（今後の予定）

- 兵庫県図書館協会研究集会（第1回）
「電子書籍サービス提供の現状について」
於：兵庫県立図書館／10月11日（金）
- 全国公共図書館研究集会（サービス部門/
総合・経営部門）兼 第52回高知県図書館大会
「地域と協働し地域の学びを育む図書館」
於：オーテピア／11月11日（月）・12日（火）
- 第110回全国図書館大会「長崎大会」
「図書館がつなぐ 人・まち・ミライ
～21世紀の出島（長崎）から～」
於：長崎県庁大会議室 他 /
11月30日（土）・12月1日（日）
- 文科省・図書館地区別研修（近畿地区）
「標題未定」
於：堺市産業振興センター／
令和7年1月29日（水）～31日（金）

兵庫県図書館協会会報 No.125
令和6年10月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-8533 明石市明石公園1-27（兵庫県立図書館内）
Tel 078-918-2586 Fax 078-918-2500